

地域計画

策定年月日	令和7年3月27日
更新年月日	令和8年3月31日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	大田市 (322059)
地域名 (地域内農業集落名)	土江地域 (土江中、土江奥)

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	26.1 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	26.1 ha
② 田の面積	25.3 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.8 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	4.2 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	4.2 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・地域では、水稻を主要な生産物として耕作している。
- ・3名の認定農業者が農業に従事するなか、水稻の生産に従事しているのは2名であり、その他の圃場は近隣からの入り作農家を含む個人耕作者が従事している。
- ・一帯は、大型スーパーの出店や交通の便がよいなど生活環境に恵まれており、人口の減少は少ないエリアである。一方で、後継者のいない耕作者が多く、高齢化と後継者不足が進んでいる。
- ・令和5年まで多面的機能支払交付金事業取り組み団体が活動していたが、解散して以降は集団的な農業活動等は行われていない。
- ・圃場整備は昭和時代のものであり、整形された形状ではあるが、単位面積が1,000㎡～1,500㎡程度しかない。
- ・場所によって土質が悪く、大型の機械が入るとはまる箇所が多数ある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・水稻の生産を中心に、地域の営農活動の継続に向け、農作業の共同取り組みや機械の共同利用など集団化に繋がる取り組みを継続する。
- ・農作業の平準化の観点から、団地(ブロック)ごとに生産する品種・品目に違いを設けるとともに作業のローテーションを図る。
- ・農作業の集団化や機械強度利用等の検討に向け、耕作者の話し合いの場を設ける。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・近隣エリアからの新たな耕作者の参入を図りつつ、認定農業者と個人耕作者間で調整し集積を図る。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	9.7	%	将来の目標とする集積率
			13.1 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
・担い手が利用する農地面積の団地数は5団地。担い手の育成を図るとともに、団地の統合と集約化を進める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
・耕作者の中での後継者の育成や新たな耕作者確保の取り組みを進めるとともに、農地の集積と団地化を図る。
(2)農地中間管理機構の活用方法
・土地所有者は農地中間管理機構に預けることを基本とし、地域の農業を担う者の経営意向を斟酌しながら、順次、中間管理機構による集積を進めていく。
(3)基盤整備事業への取組
・圃場ごとの面積の拡大や用水路の改修、土壌改良など、必要に応じ協議を進めていく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
・自治会活動や多面的事業活動などを通じ、地域の次世代や退職者などへの日常的な声掛けを行う。また、近隣エリアの入り作農家などに継続的な声掛けを継続する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
・耕作者や圃場の状況等を確認しつつ、必要に応じて労力軽減につながる作業や必要な機械を持たない作業を中心に活用の検討を進め、営農活動の維持に努める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①イノシシやサル等の出没に備え、対策の検討を進める。
- ⑦多面的機能支払交付金事業取組団体の設立を目指すとともに、営農環境の保全等の維持管理を図る。
- ⑧老朽化した農業用施設について、各種事業により維持管理を図る。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	1	水稻・野菜	2.27 ha	— ha	水稻・野菜	2.97 ha	— ha	2	
認農	2	水稻・飼料米	0.11 ha	— ha	水稻・飼料米	0.11 ha	— ha	3	
認農	3	水稻	0.82 ha	— ha	水稻	0.82 ha	— ha	4	
到達	4	水稻・飼料作物	7.95 ha	— ha	水稻・飼料作物	7.25 ha	— ha	5	
到達	5	水稻・野菜	2.81 ha	— ha	水稻・野菜	2.81 ha	— ha	6	
利用者	6	水稻・野菜	1.64 ha	— ha	水稻・野菜	1.64 ha	— ha	7	
利用者	7	水稻・果樹・野菜	0.81 ha	— ha	水稻・果樹・野菜	0.81 ha	— ha	8	
利用者	8	自己保全管理	0.06 ha	— ha	自己保全管理	0.06 ha	— ha	11	
利用者	9	水稻	0.54 ha	— ha	水稻	0.54 ha	— ha	13	
利用者	10	水稻・いちじく	0.21 ha	— ha	水稻・いちじく	0.21 ha	— ha	14	
利用者	11	水稻・キャベツ	0.36 ha	— ha	水稻・キャベツ	0.36 ha	— ha	15	
利用者	12	野菜・果物	0.34 ha	— ha	野菜・果物	0.34 ha	— ha	16	
認農	13	イチゴ	0.63 ha	— ha	イチゴ	0.63 ha	— ha	17	
利用者	14	果樹	0.10 ha	— ha	果樹	0.10 ha	— ha	18	
			ha	ha		ha	ha		
計	14経営体		18.65 ha	0 ha		18.65 ha	0 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)	うち計画同意者数(人・%)
-------------	---------------